

徳島大学・徳島新聞社・徳島県信用保証協会連携事業

# まちごとファクトリー

まちごとファクトリー

2016



徳島大学副理事(地域連携担当) 地域創生センター副センター長 山中英生 (やまなかひでお)

## 「まちごと」とは

2014年12月16日、徳島大学は徳島新聞社と連携協定を結びました。「しあわせここに」など地域づくりに取り組んでいた新聞社から大学と一緒に地域づくりに関わりたいという申し出が始まりました。

話し合いの後、若い世代が取り組む「しごと」を創ろうというコンセプトが立ち上がりました。キーワードは「まちしごと」。 「まち・しごと」ではなく「まちしごと」です。徳島では、新しいライフスタイルのしごとを始めている若者も多くなっています。その源となつているのが空き家などを活用したスモールビジネスです。しかも、まちとのつながりや信頼を柱にしていることがその要です。つまり、「まち」×「ビジネス」が「まちしごと」です。地域の中でしごとを創りだし、地域を少しずつ変えていく。そんな取り組み

を応援し、地域の新しい担い手を創り出すプラットフォームとして「まちしごとファクトリー」が始まりました。

## 2015年度 4名が起業!

2015年7月5日に、西部地域の新しい徳島大学サテライト・オフィスでキックオフ・シンポジウムを開催。手作りの布小物を細々と販売することからはじめ、今や多くのファンが全国で買求めるまでになった石見銀山の群言堂の松葉さんの講演、ファクトリーのコーディネータ役の脇町ふなとの店主田村さん、池田でユニークな取り組みをする西崎さんらが、まちしごとの担い手への思いを語る会となりました。

3回のオデオン座での研究室には毎回30〜40名がプランづくりに参加し、まちしごとを実際に立ち上げる1泊2回、2泊1回の合宿には6名が参加、実際に2名が

起業、2名が起業準備中です。この様子は徳島新聞で大きく報道され、全国的にも注目されました。

## 2016年度 3地域で開催

2年目には徳島県信用保証協会がパートナーとして取り組みに参加いただいています。まちしごとの起業を支援する取り組みも、三好市、佐那河内村、小松島市の3箇所に拡大して、それぞれで地域の資源を活かし、空き家や空き店舗の活用や中心市街地の活性化のための起業プランづくりを始めています。11月15日には生物資源産学部の1年生の授業と合同で小松島市の起業プラン検討会が行われます。1月28日には、徳島大学で起業プランの報告を兼ねたフォーラムを開催します。今後は、学生さんらも参画する取り組みへの発展を進めて行きます。

# Tokudai NEWS

## 徳大ニュース

9月8日、13日

### 野地学長がベトナムを訪問



野地学長ほか教職員2名が、ベトナムのダナン大学とドンズー日本語学校を訪問しました。ダナン大学はダナン市に1994年に設立され、工科大学、経済大学、外国語大学などで構成される国家・国立の総合大学で、

近々に理工学部を主な交流部局として、徳島大学と大学間交流協定を締結する予定です。ドンズー日本語学校は、1991年にホーチミン市で設立され、ベトナム国内で6千人の学生を有する日本語教育機関で、日本への多数の学生派遣の実績があります。徳島大学とは今年1月に国際交流協定を締結しました。

ダナン大学では、Tran Van Ngoc (トランヴァンナム) 学長と懇談を行い、交流協定の早期締結を確認し、インターシシップなどの今後の教育・研究交流の具体的な内容について、意見交換を行いました。

9月18日

### 医学部柔道部、全医体二連覇達成

徳島県立中央武道館で開催された、第50回全日本医科学生体育大会王座決定戦柔道競技男子団体戦で、徳島大学医学部柔道部が優勝し、見事二連覇を達成しました。



今大会は徳島大学、東海大学、愛媛大学、群馬大学の4校でリーグ戦を行いました。最終戦は群馬大学との戦いでした。今大会では選手が4人と、1人欠けての出場となりましたが、非常に勢いのあるチームです。まず先鋒戦では6年生の中嶋選手が出場しました。勉強の多忙な中、休むことなく稽古に励む中嶋選手は、その練習の成果を存分に発揮し、見事抑え込みで一本勝ちを収め、最後の試合を有終の美で飾りました。続く次鋒戦では荒川選手がまたしても抑え込みで一本勝ちを決め、中堅戦は不戦勝、副将戦では絞め技で一本勝ちを決めました。大将戦では惜しくも敗れてしまいましたが、見事、本大会にて優勝を収めることが出来ました。

## 9月24日 第2回徳島大学ファーマーズマーケットを実施



常三島キャンパス「助任の丘」で、地域の持続と成長に貢献する「場」づくり、農林水産／6次化／食産業等のイノベーション、ならびに大学生に対する食育推進を目的とした「第2回徳島大学ファーマーズマーケット」を実施しました。

今回は、第1回と同様、米岡オレゴン州ポートランド州立大学構内で開催されているファーマーズマーケットをモデルとし、前回の実践結果を踏まえて、より高度なデザインに取り組みしました。指導は、米岡オレゴン州から招聘したマット・ビボー氏。全米初の野外幼稚園「地球学校」初代校長でパーマカルチャー子ども教育研究所代表。県内の生産農家や地域おこし協力隊など17団体15店舗が出店し、地方創生活動の紹介／販売、ギフ

**オープニングフォーラム** 7/5  
in 徳島大学にしあわせ学舎  
「まちしごと」を創りだす地域におけるスモールビジネスの可能性と実践  
地域の未来を創造する仲間が盛り!

**スモールビジネス開発室** 8/24 3/5  
小さな起業のススメ!  
小さな地域での起業についてみんなで一緒に考える。参加費を広く取らず無料ワークショップです。

**研究会1** 8/28日  
まちしごとの考えを共有

**研究会2** 9/25日  
スモールビジネス開発室の可能性

**合宿1** 11/14sat-11/15sun  
まちしごとの考えを共有  
スモールビジネス

**合宿2** 12/12sat-12/13sun  
しごとを創る  
しごとを創る  
スモールビジネス

**合宿3** 2/18Thu-2/20sat  
しごとを創る  
しごとを創る  
スモールビジネス

**研究会3** 3/5sat  
スモールビジネス開発室の発展と  
そして未来へ

**起業**

# 読者の言葉

学生の生活の実際を知ることが興味深いです。そのような記事を多く載せてほしいです。

2016年秋号では、マイキャンパスライフ号外として、特定の学生の一日の生活、1か月の生活費などを掲載するとともに、徳大生の生活に関わるデータを載せました。『とくtake』では、今後も学生のライフスタイルを定期的に特集記事にしたいと思っています。

9月27日  
エンジニアリングフェスティバル  
2016を開催



地域における科学技術の振興の一助となることを目的としており、両研究部の研究活動や研究内容について社会への説明責任を果たすとともに、民間企業からの共同研究のシーズの提案なども視野に入れています。

10月3日～7日  
徳島大学薬用植物園を一般開放



毎年恒例となっており、薬用植物園一般開放を10月3日から7日の5日間開催したところ、およそ400名の方が来園されました。

今回の開放では、研修室にて最古の本草書である神農本草経を紹介したスライドを上映するとともに、その収載生薬や一般公開では初公開となる珍しいキノコの標本を展示し、徳島大学生薬学分野の柏田教授、田中准教授、今林技術職員、大学院生、学部生が来園者に説明をしました。園内のハーブ園で栽培した植物から作るフレッシュアップティーの紹介を行い、大変好評でした。

10月8日～9日  
留学生が日和佐八幡神社秋祭りに参加

とくしま異文化キャラバン隊46名（本学及び徳島県内の高等教育機関の留学生を中心に構成）が、日和佐八幡神社秋祭りに参加しました。本事業は平成25年から27年に採択された文部科学省留学生交流拠点整備事業を継続し、徳島（地域）の人と文化を学ぶ活動の一環として行うものです。参加者のうち、男性24名は少子高齢化のため担ぎ手の少なくなった二つの町（本町と西新町）の「ちょうさ」と呼ばれるみこしを担いで一日目は町周りを、二日目は「お浜出（ちょうさを担いで海に入る）」を応援しました。

女性ら22名は日和佐中学生、市立高校生と地域のボランティアグループとともに5つのグループに分かれ、漁師町を廻り日和佐町の写真を撮影してフォトマップを作成し、町の魅力を広く発信する活動を行っていきます。留学生からは、「大学構内ではできない貴重な経験になった」との声が聞かれ、一方、地域の方からは、「祭りがとても楽しいものになった、元気が出た、また来年も！」との感想をいただきました。



10月29日～30日  
徳島大学常三島祭、蔵本祭を開催

常三島祭と蔵本祭は、学生同士のつながりや交流を深め、地域の方々にも本学に親しみを持っていただくことを目的に行われ、今年で常三島祭は64回目、蔵本祭は32回目となりました。



蔵本祭

常三島祭



ガレリア新蔵 NEWS

第18回特別展  
「モラエス顕彰による地方創生プロジェクト」  
展示会

平成28年9月26日(月)～12月26日(月)

第19回特別展  
「板東俘虜収容所『第九』百年の国際交流」  
展示会 開催中

平成29年1月16日(月)～2月28日(火)



モラエス顕彰による  
地方創生プロジェクト  
展示会

第18回特別展では、平成22年7月31日に発足した総合科学部モラエス研究会によるこれまでの活動報告を兼ねた展示会を行いました。発足してから6年間のうちに実に多彩な催し物を開催しており、とりわけ地元の人たちと一緒にポルトガルの文人モラエス顕彰に努めながら、地域創生を図っていることがよく分かった展示会でした。今後

のますますの活動を期待してまいります。  
第19回特別展では、第一次世界大戦中、現在の鳴門市大麻町に板東俘虜収容所が建設されてから今年でちょうど百年を迎え、またその収容所でベートーヴェン『第九』がドイツ俘虜たちによって日本で初めて演奏されてから再来

年でもちよとど百年を迎えるにあたって、タイムリーなかたちで『第九』百年の国際交流を取り上げました。1917年に板東俘虜収容所が建設されてから2年10か月のドイツ俘虜たちの文化活動だけではなく、1920年に閉鎖されて以降、現在に至るまで「板東俘虜収容所」あるいは「ベートーヴェン『第九』を通して日独間の国際交流が続けられていることがよく分かります。現在、鳴門市と徳島県では板東俘虜収容所の「世界記憶遺産」への登録の準備が進められていることは、報道等で周知のとおりですが、「板東俘虜収容所」や『第九』のみならず、その根底にあるドイツ俘虜たちの「温かい心」を語り継いでいくことが現在の私たちの使命であることを強調する展示会でもあります。どうぞこの機会にガレリア新蔵展示室にお越しください。



Ever Researching For a Brighter World

身近なところでNICHIAの製品は活躍しています



日亜化学工業株式会社  
徳島県阿南市上中町岡491番地  
TEL: 0884-22-2311  
<http://www.nichia.co.jp/jp/recruit/expert.html>



<http://www.hotelclement.co.jp> ←CHECK!

ホテルならではの質の高い空間と、行き届いたサービス。

ビジネス・観光の拠点としてぜひご利用ください

JR徳島駅  
直結ホテル



【ホテルクレメント徳島】  
〒770-0831 徳島市寺島本町西1-61  
TEL. 088-656-3111

徳島大学  
公式アプリを  
公開



iPhone・iPadの場合



Androidの場合



大学公式アプリは、iPhoneやiPadから、簡単に大学情報にアクセスすることができ、受験生や在学生、保護者や地域の方々にとっても大変便利なツールです。是非ご活用ください。



ホテルサンルート徳島 シングル ¥7,020～  
〒770-0834 徳島市元町1丁目5-1 ツイン ¥12,960～  
Tel.088-653-8111 / Fax.088-653-9888